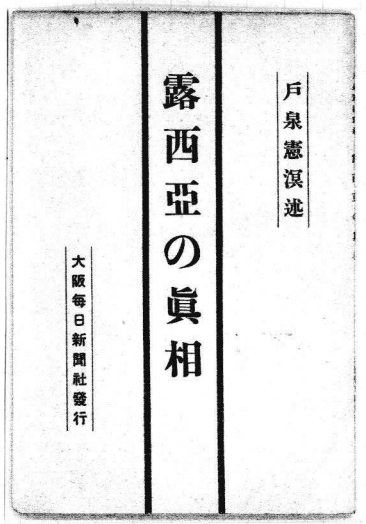戸泉憲溟（こいづみけんめい）　生歿年不詳。大正二年世本願寺からロシア研究の命目でペトログラードに留學、革命の前後十年滯在。語學講師、裁縫トラスト本部勞働調節課課長を務める。八年入露した朝日新聞社の中平亮が嫌疑を受けた事件に連坐も、ウオズネセンスキーに據り解放。歸國後その體驗を講演、『露西亞の眞相』（大正十二年二月二十日大阪毎日新聞社・東京日日新聞社）と題して出版した。